

天体望遠鏡「夢亀1～3号」貸出開始!!

油井亀美也宇宙飛行士の2度目の国際宇宙ステーション(ISS)滞在長期ミッション成功を記念し、天体望遠鏡の貸出を開始します。

油井亀美也宇宙飛行士は子どもの頃、天体望遠鏡で川上村の星空を夢中で見ていました。ワクワクしていた油井宇宙飛行士のように、観測しやすい月や惑星、星座などを自分の目で見てみませんか？
また、2度目のISS滞在ミッションを成功し、多くの夢を与えてくれた油井宇宙飛行士に敬意を込めて、天体望遠鏡3台の名前を「夢亀(ドリームタートル)1～3号機」とつけました。

対象：村民の方、村内団体等
(営利目的は不可)
貸出期間：7日以内
使用料：無料
使用場所：村内と隣接自治体
その他にも条件あり

天体望遠鏡を借りて、星空を見ていただいた方に記念のシール配布します。「満月(レタ助)に夢亀(ドリームタートル)が向かっていくところや、惑星や星座を天体望遠鏡で見よう」という思いを込めています。

詳しくは、むらづくり推進課政策係 (TEL: 97-2124) までお問い合わせください。

「～ゆるっと～川上村未来会議」開催!

「川上村の未来のために、村内の方が気軽に意見を出し合って、できることをやっぴいこう」を目的とした「～ゆるっと～川上村未来会議」を4月16日(木)に開催しました。

役場会議室には村内の方を中心に11名が集まり、オンラインでは村外の方を中心に19名が参加しました。第1回目のテーマは「空き家の活用について」と「川上村でこんなことをしてみたい」について意見を出していただきました。

空き家については、DIY(自分たちで修繕)を行う意見が多く出ました。村外からも参加者を募って実施することで、その空き家や川上村に愛着を持ってもらったり、イベントとして楽しく開催したりしてはどうかと意見を頂き、実現に向けて検討を始めました。

第1回目の会議では、たくさんの意見をいただき、予定していたもう一つのテーマである「ふるさと納税の返礼品」については話す時間がなくなるほど大盛況でした。
くわしい内容については川上村HPをご覧ください。

村外の方が加わることで、別の角度の視点やエネルギー等を共有し、新しい取組みから村の活性化を図っていきます。今後も開催していきますので、気軽にご参加ください。

役場むらづくり推進課政策係、地域おこし協力隊員：土屋千穂

令和8年度 川上村植樹祭について

長野県議会議長 依田明善様をはじめ、たくさんの方にご参加いただき、5月1日(金)に原高登谷で川上村植樹祭を開催しました。

心配された雨もすっきり上がり、山菜祭り会場の近くで、みどりの少年団の子どもたちや村内の各種団体の方々にご参加いただき、記念植樹として桜1本、ヒメバラモミ7本の他カラマツ1,600本が植樹されました。今年植えた木がまた大きくなって川上村の自然を守っていつてくれるといいですね。

川上第一小学校 今井菜々莉さん
川上第二小学校 原 叶大さん 林 里弥さん
記念樹の前で、来賓の皆さんと
「みどりの少年団」植樹の様子

長野県川上村 オープンチャット 開設しました

運営担当 川上村地域おこし協力隊つっちー

どなたでもお気軽にご参加いただけます!

レタスペビレッジという名前で川上村と村外の方を繋ぐコミュニティを作っていきます!

匿名参加OKです!

QRコードをスマホで読み取って参加

03 / 06 第一小学校



六年生を最前列に、全学年一緒に記念撮影。



盛り上がる六年生。

3月 六年生を送る会

卒業する六年生にこれまでの感謝を伝え、中学校生活にエールを送るための会です。五年生以下の児童たちが、いろいろな企画をして、楽しく温かなひとときになりました。



下級生が学年ごとに六年生に贈る企画を披露します。

03 / 10 第二小学校



下級生から六年生に手作りの小物を贈りました。

川上村のできごと
フォトピ!
Photo Topic

冬～春



気持ちよく滑ります。

2025 12月 / 2026 01月 第二小学校 校庭リンク

村では唯一の、長野県下でも数少ない校庭リンク。第二小学校の冬を明るく彩ります。



ふつうのくつでアイスホッケーもどき!



コンテナ押して氷に慣れよう。



松原湖スケートセンターで、楽しく滑ったりレースをしたり。

01 / 22 第一小学校 スケートに親しむ日



雪でも笑顔が弾けます。

りむいたりしたこともありましたが、やがて昭和57年の台風で梓湖が埋まると、スケートリンクは高登谷湖へと移り、それが十分に凍らなくなると松原湖スケートセンターに通うようになっていきました。

梓湖がリンクだったころ、第二小学校の近くには田んぼリンクがありました。低学年のうちはそので滑っていた記憶があります。昭和58年に現在の校舎とともに校庭リンクができ、40年以上も続いているのです。

この原稿について昭和20年代後半生まれの方に確認していたところ、「俺たちのころには、あちげダムで滑ってたぞ」という情報が。当時、三協精機の選手も練習に来ていたそう。あちげダムが徐々に埋まり、リンクは梓湖に作られるようになったのです。



中学の親善試合の様。ワンピースではないが、ユニフォームを着ている。

梓湖でスケートをしていた頃のこと

梓山から町田市民休暇村へと続く道の途中に「梓湖グラウンド」があるのを知っていますか？今は天然芝に覆われた美しいサッカーグラウンドですが、昭和50年代までは、冬になると厚い氷が張り、天然のスケートリンクとして使われていました。

第二小学校では三年生くらいから、ランドセルの上にナップザックという軽い袋にスケート靴を入れて背負い、学校から梓湖までの約3kmの道のりを歩きました。梓湖に着くと、ジャージやジャンパーを脱いでスケート用のタイツとセーターになって、スケート靴をはいて滑ります。今のスケート選手が着るワンピースなら、風を通すこともないでしょう。ところが当時は、家で編んでもらった毛糸のセーターと、厚手とはいえ防寒機能は低いタイツが定番で、午後3時になれば日が上がる梓湖では、あつという間に身体が冷えて、手や足が冷たくなり、しもやけになることも多かったです。写真にあるように、梓湖はダム湖だったので、セメントの壁がないところから冬でも水が落ちていて、強風で吹き上げられた水滴がバチバチと顔に当たって泣きたくなるような日もありました。天然氷のリンクは硬くて脚が疲れやすく、表面がひび割れてスケートの刃が引っかけたて転んだり、氷で擦



03 / 25 **かわかみ保育園 卒園式**



思い思いの顔やポーズで。



6人6色。

そつえんおめでとうのメッセージの前で。



ピアノのまわりで「せんせ〜」。元気に歌えるかな？

04 / 06 **第二小学校 入学式**



04 / 06 **第一小学校 入学式**



04 / 06 **川上中学校 入学式**



川上村のできごと **フォトピ!**
Photo Topic

03 / 17 **第二小学校 卒業式**

卒業生14人が在校生と向き合います。中学校の制服を着るとぐんと大人っぽく。



卒業証書を受け取る凛々しい横顔。



在校生に拍手で迎えられ、卒業生が入場。ちょっぴり緊張気味かな？

03 / 17 **第一小学校 卒業式**



みんなで歌う小学校生活最後の合唱。美しく響きました。



校長先生と担任の先生が並んで卒業証書を授与。



卒業証書を手し、保護者や先生とみんなで記念撮影。いい笑顔がいっぱい。

03 / 18 **川上中学校 卒業式**



川上村の赤ちゃん New Face ニューフェイス

すくすく元気いっぱい
赤ちゃんをご紹介します



お兄ちゃん、大好き♡

しん かい けん ま
新海 絢真 ちゃん

誕生日
原 11 21

(保護者：大智・果歩)



我が家のアイドル!

いわ みず り ま
岩水 莉麻 ちゃん

誕生日
原 10 04

(保護者：玄・亜美)

親御さんからひと言

にこにこ笑うようになり、毎日癒されています。元気に育ってほしいです。

親御さんからひと言

クシャッと笑顔がとてもかわいく、毎日幸せをもらっています。お姉ちゃんとたくさん遊んでたくさん笑って、スクスク元気に育ってね!

募集中!

『季刊かわかみ』に、感想・希望・意見を お寄せください!

未経験者 歓迎!

あなたの トクイを生かします

たくさんの 人に出会えます

こんなこと を取り上げてほしい

この記事は おもしろかった つまらなかった

うちのペットも 紹介したい!

こんなコーナー 作ってほしい

一緒に情報誌を作る編集 委員も募集しています。

どちらも TEL: 0267-97-2124 (むらづくり推進課 広報係) 0267-97-2000 (公民館)
メール: kouminkan@vill.kawakami.nagano.jp

動物パトroller

鷹野 健一 さん (梓山)

■ 姫 (川上犬 メス 4歳)

4年前から我が家に来た「姫」。小さい頃から甘えん坊で、撫でられるのが大好きでくっついてきます。毎日のお散歩も朝晩欠かさず催促します。食いしん坊で嫌いなものもなく、何でも食べる「姫」♪ 我が家のアイドルです♪ 美人です♪



川上村の 素顔

第54回

農村の豊かさを多くの人と分かち合って



右から
岩水 陽子さん (原)
嶋崎万里子さん (川端下)



こども食堂用に集まった野菜



おいしそうに できました



みんなでいただきます



農村生活マスター川上支部 会員の皆さん

原の岩水陽子さんは、夫婦で理容店を営む傍ら農業にも勤しみ、マルシェかわかみや農協にも出荷してきました。そして、「自分たちが暮らす地域に貢献したい」との思いから、デイサービスなど村内の施設に野菜の提供を続けています。10年ほど前に長ねぎなど自家用野菜を多めに作ったのがきっかけで、長年にわたり野菜レンジャーとして小中学校にも給食用の野菜を提供していました。(野菜レンジャーは現在活動終了)

そんな陽子さんは、「農村生活マスター」としても精力的に活動しています。長野県内で1000名、川上村では10名のマスター会員が活動中。川端下の嶋崎万里子さんが川上支部長を務められています。「村の先輩からの紹介で、どんな活動をするんだらう? まあやってみようか、と長野県の認定研修を受けて会員になりました。受講した村内外の

会員は、みなさんはつらつと、いきいきとしていて、励まされています」と陽子さん。

農村生活マスター川上支部では、ラインなどのネットワークで繋がった多くの会員の協力を得て、6年前から佐久市、小諸市、軽井沢町、御代田町、佐久穂町のこども食堂へ定期的に野菜を提供しています。夏の農繁期は、川上の会員にとって野菜の運搬が難しいので、佐久地域振興局総務管理課のご協力もいただきます。

マスターの研修での「新しい食文化は地域の人と共有すべし!」の教えを実践するべく、南牧村の酪農家から材料を仕入れてモッツアレラチーズやハム・ソーセージ作りの伝達講習も行っています。隣村同士の関係も深まり、相乗効果もあがります。手軽に作れるので定期的に行っていて、口コミからか、講師の依頼も多くあるそうです。

「農業の6次産業化・地産地消・食育などを推進しながら、農村の豊かさを多くの人と共有し、それが村の活性化に繋がればいいな」と思い、活動しています」と支部長の万里子さん。

昨年末には同じような活動をしている豊丘村がBS朝日で放映され、会員の皆さんにとっておおいに励みとなったようです。他の会員の皆さんからも、「役員会や講演会・学習会で出会った人たちとの交流を通して自分の知識が広がったと感じます」「女性同士の輪が広がることは村の活性化に繋がりが、自分の暮らしを豊かにするヒントがもらえます」などの声が上がりました。日々の営みから暮らしを、地域を豊かに活動されるマスターの皆さん、その思いはかけがえない財産です!



経済センサス

活動調査



調査へのご協力・ご回答
よろしくお願いします。



経済センサス-活動調査は、全産業分野の売上(収入)や費用などを網羅的に把握し、我が国の経済構造の実態を全国及び地域別に明らかにすることにより、各種施策に必要な基礎資料を得ることを目的として実施します。

回答はインターネットがおすすめです。

<https://www.e-census2026.go.jp/>

経済センサス2026

検索



戸籍の窓口

1月1日～3月31日受付

お誕生おめでとう
ごぞいいます

井出 匠
奈生子

林 花帆
裕介

原 駿介
勝也

吉澤 泰史
晃太
みのり

ご結婚おめでとう
ごぞいいます
末永くお幸せに

高橋 克幸
梓山
カンシースウン
カンボシア

お悔やみ申し上げます

高橋 金次 90歳 樋澤

中島 百一 86歳 大深山

関 八重子 94歳 梓山

原 正 70歳 居倉

伊藤 七代 102歳 居倉

由井 都 102歳 大深山

桃井 旭人 94歳 御所平

山中 はるえ 97歳 秋山

林 公也 70歳 秋山

油井 みさぎ 86歳 梓山

篠原 千代子 83歳 大深山

※この欄は川上村に住民登録されている方を掲載しています。

源流

日々の暮らしの中で、自然と続いている趣味はありますか。私にとっ て、それがゴルフでした。今回は、ゴルフとの出会いと、今につながる思いを振り返ってみたいと思います。

私がゴルフを始めたきっかけは高校生の頃でした。寮生活をしていて当時、時間を持て余していた私を見て、父がゴルフを勧めてくれました。最初は何も分からないまま練習場に通い、一人ですぐとボールを打つ日々が続きました。思うように当たらないことも多かったですが、時折うまく打てた時の爽快感が忘れられず、次第にゴルフにのめり込んでいきました。動画を研究したり、実際にプロの試合を観戦したりと、ゴルフは今でも最も没頭できる存在です。

ゴルフを続けていく中で、技術の向上だけでなく、さまざまな人との出会いや交流が生まれたことも大きな魅力でした。ラウンドを共にする仲間が増え、遠方へゴルフ旅行に出かけることもありました。村に戻ってからは、仕事の枠を越えて多くの方と交流する機会にも恵まれ、ゴルフが人と人を自然につないでくれる存在であることを実感しています。そうしたつながりは、今では世代を越えて広がっています。

振り返ると、ゴルフを勧めてくれた父の存在は大きく、感謝の気持ちでいっぱいです。これからもゴルフを楽しみながら、人との縁を大切にしていきたいと思っています。

建設課 環境係 原 雄峰